

受賞者

福井県科学学術大賞

- (1) 受賞者名 藤枝 重治（ふじえだ しげはる）[福井大学学術研究院医学系部門医学領域感覚運動医学講座耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教授]
- (2) 業績名 難治性鼻副鼻腔疾患の診断基準決定と病態解明、新規治療法の開発
- (3) 業績概要 鼻の疾患で多いのは、副鼻腔炎とアレルギー性鼻炎です。その中で好酸球性副鼻腔炎と難治性アレルギー性鼻炎は極めて治りにくい病気です。その診断と治療を確立することは耳鼻咽喉科における喫緊の課題でした。受賞者は、治りにくい好酸球性副鼻腔炎と難治性アレルギー性鼻炎の診断基準を作成し、全国約3万人の好酸球性副鼻腔炎患者が、指定難病に認定され、医療補助を受けられるようになりました。同時に遺伝的素因とその病態を様々な最新の手法で解明し、好酸球性副鼻腔炎の治療薬候補2件、両疾患の検査・治療効果判定に関する内容5件の特許を出願しました。
- (4) 表彰内容 表彰状、賞金100万円、記念品を贈呈

福井県科学学術大賞特別賞

- (1) 受賞者名 井坂 慎吾（いさか しんご） [前田工織(株)開発技術部繊維資材グループ長]
川端 聡史（かわばた さとし） [前田工織(株)開発技術部繊維資材グループ課長代理]
田中 紘一郎（たなか こういちろう） [前田工織(株)開発技術部繊維資材グループ主任]
坪田 憲紀（つぼた けんき） [前田工織(株)開発技術部繊維資材グループ社員]
村上 義則（むらかみ よしのり） [前田工織(株)開発技術部繊維資材グループ社員]
- (2) 業績名 ラッセル網地・袋材の研究開発と土木分野への展開
- (3) 業績概要 海・河川工事等において使用する「ラッセル網地・袋材」を開発しました。
（主原料のポリエステル繊維にカーボン素材を練りこんで製造した網・袋。独自開発の編み機を使って製造。）
フレキシブル性や河床凹凸部等への追従性に優れ、工程費用の最大53%削減、工程日数の83%削減、工程におけるCO2発生量の約85%削減を達成し、環境配慮に貢献しています。
- (4) 表彰内容 表彰状、賞金50万円、記念品を贈呈

福井県科学学術大賞若手科学学術賞

- (1)受賞者名 板本 哲平 (いたもと てっぺい) [フクビ化学工業(株)精密事業本部開発部課長]
- (2)業績名 インモールド成形可能な伸張性反射防止膜の開発
- (3)業績概要 車載用ディスプレイや医療機器等に利用される、伸縮性に優れた反射防止膜を開発しました。
従来、加工が難しく平面利用が主だった反射防止膜について、有機物と無機物のハイブリッドとすることで伸張性のある製品を開発しました。反射防止膜の成膜後にパネルを3D成形加工することが可能になり、様々な意匠性の要求にも容易に対応できるようになりました。
- (4)表彰内容 表彰状、賞金30万円、記念品を贈呈

福井県科学学術大賞若手科学学術賞

- (1)受賞者名 瀧澤 文雄 (たきざわ ふみお) [福井県立大学海洋生物資源学部准教授]
- (2)業績名 魚類の粘膜免疫に関わる抗体の研究
- (3)業績概要 魚類特有のIgT抗体(病原体等の侵入阻止や排除に関わるたんぱく質)の機能を、免疫学の分野で初となるIgTたんぱく質を一時的に除去したニジマス(IgT枯渇ニジマス)を作って明らかにしました。
今後、養殖業の課題である感染症対策につながる魚類の粘膜ワクチンの開発と評価への寄与が期待されています。
- (4)表彰内容 表彰状、賞金30万円、記念品を贈呈

(参考)

【表彰式】

- 1 日 時 令和4年2月7日(月)13時30分から
- 2 場 所 福井県県民ホール(AOSSA8階)
(「ふるさとの日」記念表彰式にて表彰します。)
- 3 表彰内容 表彰状、賞金、記念品を贈呈

※表彰式終了後、14時30分から福井県県民ホール(AOSSA8階)楽屋3、4において受賞者の記者会見を予定しています。

福井県科学学術大賞の概要

事業概要

福井県内において科学技術の開発または学術研究に携わり、本県の発展に大きく貢献したと認められる方を顕彰することを目的とした表彰制度です。

この賞は、県内の篤志家からの寄附金を原資として授与されるもので、“本県版のミニ・ノーベル賞”として位置付けられ、「物理」、「化学」、「生物」、「医学・生理学」、「経済」の5分野での業績が対象となります。

表彰の対象

福井県内において、物理、化学、生物、医学・生理学、経済の分野で特に顕著な功績を挙げ、産業の振興、地域の活性化その他住民の福祉の向上に貢献したと認められる個人またはグループ（若手科学学術賞は概ね45歳未満の個人または主たる研究者が概ね45歳未満のグループ）の業績が対象となります。

表彰の内容

| | |
|------------------|--------------------|
| 福井県科学学術大賞 | 表彰状、賞金100万円、記念品を贈呈 |
| 福井県科学学術大賞特別賞 | 表彰状、賞金50万円、記念品を贈呈 |
| 福井県科学学術大賞若手科学学術賞 | 表彰状、賞金30万円、記念品を贈呈 |

募集の方法

一般公募とし、応募方法は所属する団体等からの推薦または本人からの応募とします。

受賞者の選考

応募のあった方を対象に、福井県科学学術大賞選考委員会で受賞候補者を選考し、知事が受賞者を決定します。

福井県科学学術大賞選考委員

| 専門分野 | 委員名 | 所属役職等 |
|--------|-----------|--------------------------|
| 物理 | 委員 長谷川 洋作 | 財団法人未来工学研究所 前所長 |
| 化学 | 委員 奥山 喜久夫 | 広島大学 名誉教授 |
| 生物 | 委員 斎藤 成也 | 国立遺伝学研究所 教授 |
| 医学・生理学 | 委員 木村 吉延 | 福井大学 名誉教授 |
| 経済 | 委員 武藤 昌三 | シンフォニアテクノロジー株式会社 代表取締役会長 |